



令和4年度 飯塚市立伊岐須小学校通信
いぎすだより

＜学校目標＞未来を拓く基礎となる「かしこく」「やさしく」「たくましい」児童の育成

令和5年1月10日

第12号

児童数 529名

校長 桂 芳州

いつも使う言葉を意識して…

新年明けましておめでとうございます。令和5年が始まりました。今年もどうぞよろしくお願いたします。天気にも恵まれおだやかな年の初めでした。私は、友人と山に登って初日の出を見たり、三が日を家族とのんびり過ごしたりしていましたが、皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか。



さて、3学期の始業にあたり、子どもたちに次のようなお話をさせていただきました。

－ 始業式で子ども達に話したこと－

伊岐須小学校529名の皆さん、明けましておめでとうございます。

冬休みはどう過ごしましたか？冬休みの間、命に関わる大きな事故や事件の報告もなく、皆さんと今日会えたことをとてもうれしく思っています。

いよいよ令和5年がスタートしました。西暦で言うと2023年ですね。2学期の終業式の時に、「一年の計は元旦にあり」という話をしました。一月一日の午前中に、「今年はこんなことを がんばるぞ!」という 目標を立ててくださいとお話ししましたが、できましたか。もし、まだの人がいたら大急ぎで目標を立ててくださいね。そして、目標の実現に向けて、一生懸命にがんばってほしいと 思います。私の今年の目標の1つは、健康のことが気になりますので、「1週間に最低2回は、30分以上のウォーキングをする」と決めました。しっかり歩いて、病気やけがに負けない丈夫な体をつくりたいと思っています。

さて、始業式にあたり、皆さんに1つだけお話しします。それは、普段使っている言葉を変えてみよう、ということです。「言霊(ことだま)」という言葉がありますが、皆さんは聞いたことがありますか？「言葉には、口にしたことを現実にしてしまう力がある」という考え方です。例えば、「ついてない」「私ばかり言われる」「あいつは許せない」「もういやだ」「自分はダメだ」など、こんな言葉を耳にしたり、言ったりしたことはありませんか。このような人の心を暗くする言葉を使うと、それが現実になり、言った人にはさらに嫌なことが起こってしまうと言われていています。聞いている人もいい気持ちはしませんよね。逆に自分の心も周りの心も明るくするような言葉もあります。「幸せ言葉」とでも呼びましょうか。自分も周りも明るくする「幸せ言葉」にはどんな言葉があるのでしょうか。大きな会社の社長であり、「ついで」という本を書いた齋藤一人さんは、「愛しています」「ついでる」「うれしい」「楽しい」「感謝しています」「幸せ」「ありがとう」「許します」などの言葉だと言っていました。たしかに、言われると気持ちいいですね。例えば、外を歩いていて何かが落ちてきた。その時、「なんてついていないんだろう」ではなく、「頭に当たったら大変だった。足元でよかった、ついでる」と言うとは何か気持ちが軽くなります。自分が楽しい時に「ついでる」と言って、つらい時に「つらい」というのは当たり前です。でも、「つらい」時にも「ついでる」と言ってみると、少し気持ちが楽になります。これが言霊の力なのです。さらに、「ついでる」と言っているとたくさんの良いことが起こり始めると齋藤一人さんは言います。皆さんの言葉の使い方によって、自分も周りも明るくすることができます。今日からぜひ「ついでる」「うれしい」「楽しい」「感謝しています」「幸せ」「ありがとう」「許します」などの「幸せ言葉」を意識して使ってみてください。



(「小学生がシーンとして聴く道徳話100選」長谷川博之編著より引用)

私たち大人は、「幸せ言葉」を使えているでしょうか。子ども達の健やかな成長を支えるための良い環境をつくっていくために、まずは、私たち大人も自分の発する言葉に気を付けたいものです。昨年に引き続き、令和5年も学校教育へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

日	曜	1月の学校行事
10	火	始業式 学校安全の日 児童下校11:50
11	水	給食開始 4時間授業 冬休み図書返却 4~6年 児童下校13:30
12	木	冬休み図書返却 1~3年
13	金	
14	土	PTA花いっぱい運動9:30~11:00
15	日	
16	月	
17	火	図書館開館 オンライン英会話5年 PTA役員会18:30~
18	水	市ALT4年①②③ 委員会活動⑥
19	木	
20	金	命と安全の日 標準学力検査②国語③算数 代表委員会⑥
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	オンライン英会話6年
25	水	市ALT3年①②③ 5年スチューデントシティ体験学習(5の2、5の3)
26	木	
27	金	二瀬中学校新入生入学説明会 6年14:00~
28	土	
29	日	
30	月	避難訓練(地震による火災)③
31	火	オンライン英会話6年
【2月の主な行事予定】		
3日(金)5年スチューデントシティ体験学習(5の1) 10日(金)児童会選挙		
14日(火)新一年入学説明会 24日(金)学習参観⑤、学年・学級懇談会		

COFFEE BREAK **努力が花開き、実り始める一年に!**

令和5年・2023年は卯年(うとし)ですが、本来の干支(えと)でいうと癸卯(みずのと・う)となります。干支とは本来「十干十二支(じっかんじゅうにし)」を略した呼び名で、「十干(じっかん)」と「十二支(じゅうにし)」を組み合わせたものです。「十二支」は、知っての通り、子(ね:ねずみ)、丑(うし)、寅(とら)、卯(う:うさぎ)、辰(たつ)、巳(み:へび)、午(うま)、未(ひつじ)、申(さる)、酉(とり)、戌(いぬ)、亥(い:いのしし)と、年を12種類の動物になぞらえたものです。「十干」とは、甲(こう:きのえ)、乙(おつ:きのと)、丙(へい:ひのえ)、丁(てい:ひのと)、戊(ぼ:つちのえ)、己(き:つちのと)、庚(こう:かのえ)、辛(しん:かのと)、壬(じん:みずのえ)、癸(き:みずのと)の総称で、もとは1から10までものを数えるための言葉です。つまり、2023年は十二支でいうと「卯年」、十干では「癸」となり干支は「癸卯(みずのと・う)」となります。

「癸卯」の「癸」と「卯」は、それぞれ独自の意味があります。「癸」は、物事の終わりとも始まりを意味する他、「揆(はかる)」という文字の一部であることから「種子が計ることができるほどの大きくなり、春の間近でつぼみが花開く直前である」という意味だと言われています。「卯」はもともと「茂」という字が由来といわれ「春の訪れを感じる」という意味、また、「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味があるとされています。この2つの組み合わせである「癸卯」には、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよさを表す意味があるのだそうです。

干支の漢字が示す通り、努力が花開き、実り始める一年にしたいですね。